

# 古文書を読む会学習記録

作成日 平成30年12月20日

開催日	平成30年12月13日	時 間	10:00~12:00
場 所	区民活動センターAB会議室	出席人数	14名
講 師	真田 雅行氏	作成者	鈴木 浩士
テーマ	第一学習 野島浦 鈴木家文書⑫		
概 要	<p>○関東取締出役の湯原秀介からの手配書（相書き）。以下の11名。</p> <p>①神奈川宿 普化禅宗（注） 西向寺 住職 量臥 ②役僧 堆周 ③帰盟 ④門弟 得一 ⑤同 量雄 ⑥△ 地計 ⑦同 英山 ⑧同 隧道こと不 ⑨同 武俊 ⑩同 東耀 ⑪同 東烏</p> <p>この内、量臥、堆周、帰盟が先月八日大津村から船で出て野島浦金右衛門方へ泊ったことをつきとめている。懇意の者がいるらしいが決して匿ったりしてはならない。この廻状を廻しその旨を徹底すること。天保二年卯年八月十五日</p> <p>・人相書きの例</p> <p>帰盟 帯刀している。京都にて召捕らえられた。</p> <p>一、年三十才位、丈中丈中肉色白き方。丸顔、眉毛細く歯並み揃い、上の前歯二枚ほどねじれ内口向きがあつて一寸見歯欠けのように見える。物を言うとき下あごを出すくせがある。総髪で平かんざしへ巻いている。</p> <p>○今度、流人船が出る。嵐の時などは助け、船掛かりの時は油断してはならない。と、室賀図書からの指示があつた。</p> <p>○せんだって三宅島から流人が逃げ出した。怪しい者が着岸したら捕まえて田口五郎左衛門役所へ申し出ること。</p> <p>○大井帯刀御代官所よりの触書。</p> <p>飛驒国から材木を伐り出す。不時の出水や大風雨のためにその木材が散乱することもある。その時は川辺、海辺附村々の名主、組頭などは紛失しないように集めて最寄りの代官所や役所に注進すること。</p> <p>（注）虚無（こむ）宗ともいう。1250年ころ中国から伝わった。江戸時代、虚無僧として全国を遍歴修行する風を生じた。浪人の多くがこの姿をとり、弊害が生じたので、天保のころ宗派としての特権を剥奪された。</p>		
次回予定	平成30年12月27日 10:00~12:00 於:金沢区民活動センターAB会議室 第二学習 艱難実録(箱館戦争)(中)⑬		